

外務省

令和7年度 優良事業改善事例

事業番号	事業名	事業内容	改善点の概要	選定プロセス及び理由	省内横展開の時期・方法
001073	語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）	日本における外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流の進展を図ることを通じて、日本と諸外国との相互理解を促し、日本の国際化の促進に資するため、語学指導等を行う外国青年を招致する事業。地方公共団体が、関係省庁（外務省、総務省、文部科学省）及び（一財）自治体国際化協会の協力の下、外国語指導助手、国際交流員、及びスポーツ国際交流員を招致する。外務省は在外公館を通じ、募集・広報、選考及び事前研修を実施すると共に、日本のサポーターであるJETAA（元JET参加者の会）による対日理解促進や草の根交流活動等に対し支援を実施。	本事業を行うことの政策的意義、定量的・定性的指標の両方の観点を含め、事業の効果的な実施のためにはどのような改善が可能かといった点から課題を整理した。その結果、定量的な短期アウトカムが設定され、長期アウトカムについては数の増加にとどまらず、日本に対する関心、理解、支持の拡大という日本の外交アセットとしての活用を設定することにより、高い質を担保するために、量的にも効率的な確保を進めるという後続アウトカムへのつながりが明確化された。	EBPM 推進担当部局である大臣官房考査・政策評価室が候補案件の絞り込みを行った後、行政事業レビュー推進チームにて優良事業改善事例として選定された。外交という特性上、定量的な成果指標の設定に困難を伴う案件が多い中で、令和7年度の公開プロセス対象案件として、積極的な改善が図られた。定量的な成果指標による短期アウトカムが新たに設定されたことに加え、その後続となる長期アウトカムでは、定量的な参考値に加えて定性的な成果指標も付記することで、状況が多様で定量的に測定することが難しい参加者の貢献度を捉えることを試みており、日本の外交アセットとしての活用を設定している等、他省庁や地方自治体等の複数のステークホルダーが関わる中で、外務省の担当部分である入口（来日前）と出口（帰国後）に関して EBPM への対応が見られる。これらの取組は、成果指標の設定に難しさを感じている他案件の参考となり、省内の横展開が期待される点が評価された。	当省 HP における本優良改善事例の掲載と合わせて省内回章にて周知するとともに、今後の行政事業レビューを通じた取組改善のための参考とするように奨励した。